

令和6年度 特定新技術補助金等の支出の目標等に関する方針

スタートアップ等（スタートアップ、中小企業、研究成果の事業化を目指す研究者等）に支出可能な補助金等の目標設定と支出の増大を図るための措置等を規定。

【支出の目標】

研究開発型スタートアップ等への支出 1406.7億円※

(参考) 令和5年度の支出の目標 1066.2億円

※指定補助金等であり、かつ、スタートアップ等への支援を主目的とした5年間の基金事業である「中小企業イノベーション創出推進事業」、「ディープテック・スタートアップ支援事業」の各年按分額を含む。

【支出機会の増大を図るための措置】

- 公募の予見可能性・利便性の向上
- 申請手続の簡素化・標準化
- 対象経費・執行の柔軟化・弾力化
- 外部評価の活用
- スタートアップを優先採択する取組等の情報提供の強化
- スタートアップ・エコシステム拠点都市との連携 等

【事業活動の支援において配慮すべき事項】

- 公共調達における受注機会の確保 等

指定補助金等の交付等に関する指針

各府省庁が統一的なルールで運用する指定補助金に関する基準や交付の方法等を規定。

【指定補助金等の基準に関する事項】

- 交付対象（研究開発型スタートアップ等）
 - ①原則設立15年以内の中小企業者等
 - ②事業を営んでいない個人（研究者等）
- 研究開発課題の設定
- 多段階選抜方式の実施
- プログラムマネージャーの配置

【指定補助金等の交付の方法に関する事項】

- 指定補助金等の名称
- 多段階選抜方式の事業期間・事業規模
- プログラムマネージャーの能力と役割
- 申請手続の簡素化、執行の柔軟化
- 普及活動の推進
- 令和4年度第2次補正予算に計上されたフェーズ3基金事業（指定補助金等）として、特に設定すべき交付の方法及び社会実装の推進等に関する事項 等
 - ①**SBIRフェーズ3社会実装推進・評価有識者会議の運営**
 - ②SBIR関係各省責任者会議**及び推進・評価有識者会議**へのプロジェクト実施状況等の報告
 - ③フェーズ3基金事業統括体制の整備
 - ④プロジェクトの採択・評価・フォローアップ体制の整備
 - ⑤プロジェクト成果の社会実装に向けたロードマップの策定

【事業化の支援において配慮すべき事項】

- 入札参加機会の拡大、公共調達の実施(随意契約)、メインコントラクターとのマッチング 等